

実 技 試 験

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、平成28年4月1日現在施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例については考慮しないものとします。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 司法書士資格を有していないFPが、顧客の任意後見人となる契約を締結した。
2. 税理士資格を有していないFPが、顧客からの依頼により、無償で顧客の確定申告書を作成した。
3. 生命保険募集人資格を有していないFPが、顧客から相談を受け、将来の必要保障額の試算および加入している保険の見直しを行った。

問2

下記は、池谷家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果は万円未満を四捨五入すること。

＜池谷家のキャッシュフロー表＞

（単位：万円）

経過年数		基準年	1年	2年	3年	
西暦（年）		2016	2017	2018	2019	
平成（年）		28	29	30	31	
家族・ 年齢	池谷 真彦	本人	51歳	52歳	53歳	54歳
	和佳子	妻	49歳	50歳	51歳	52歳
	雄大	長男	17歳	18歳	19歳	20歳
	紗奈	長女	15歳	16歳	17歳	18歳
ライフイベント		変動率	自動車の 買替え	紗奈 高校入学	雄大 大学入学	
収入	給与収入(夫)	1%	608			(ア)
	給与収入(妻)	—	76	76	76	76
	収入合計	—	684	(イ)		
支出	基本生活費	2%	267			
	住宅関連費	—	118	118	118	118
	教育費	—		97	160	85
	保険料	—	52	52	52	52
	一時的支出	—	267			
	その他支出	—	10	10	10	10
	支出合計	—		549	618	548
年間収支		—	▲108	141	78	154
金融資産残高		1%		629	(ウ)	874

※年齢は、各年12月31日現在のものとし、平成28年を基準年とする。

※給与収入は手取り額で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部空欄にしてある。

1. 空欄（ア）に入る数値とその求め方：「 $608 \times (1 + 0.01)^3 \approx 626$ 」
2. 空欄（イ）に入る数値とその求め方：「 $549 - 141 = 408$ 」
3. 空欄（ウ）に入る数値とその求め方：「 $629 \times (1 + 0.01) + 78 \approx 713$ 」

【第2問】下記の（問3）～（問5）について解答しなさい。

問3

下記は、経済用語についてまとめた表である。下表の経済用語に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

経済用語	主な内容
(ア)	日本銀行が景気の現状や先行きの見通しについて企業に直接行うアンケート調査で、全国企業短期経済観測調査の略称であり、年4回、調査・公表される。
(イ)	毎月全国の主要機械メーカーの設備用機械類の受注額を集計したもので、内閣府が公表している。
(ウ)	生産、雇用などさまざまな経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握および将来予測に資するために内閣府が計算、発表している指標である。

1. 空欄（ア）に入る用語は、「日銀短観」である。
2. 空欄（イ）に入る用語は、「機械受注統計調査」である。
3. 空欄（ウ）に入る用語は、「消費者物価指数」である。

問4

下記<資料>の上場不動産投資信託（J-REIT）に関する次の記述の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値または語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、空欄（ア）の解答に当たっては、小数点以下第3位を四捨五入すること。

<資料>

	Q X不動産投資法人	Q Y不動産投資法人
REIT価格	583,000円	609,000円
1口当たり純資産	441,400円	432,800円
1口当たり分配金（年間予想）	15,900円	16,300円

- ・ Q Y不動産投資法人の分配金の予想利回りは、（ア）%である。
- ・ 1口当たり純資産を用いてREIT価格の割安性を比較した場合、より割安であると考えられるのは、（イ）不動産投資法人である。

1. (ア) 2.68 (イ) Q X
2. (ア) 2.73 (イ) Q X
3. (ア) 3.77 (イ) Q Y

問5

下記<資料>に関する次の記述の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。

<資料>

年月【資本異動】	万株	【株式】 $\times 10^4$	3,465,097千株	【株主】 $\times 10^4$	<15.9>	万株	【最高益】	北米好調だが国内や東南アジアの減少で総販売台数は17年3月期は増えなかった。	【境界技術】自動車の世界首位級。国内シェア4割超。富士重へ出資。海外結核事業）自動車92（9）金融6（22）他2（5）海		
08.10	交換	344,799	時価総額	26.6兆円	225	日本トラスティ信託	36,066(10.5)	を市販化やレクサスの複数車線の投入を計画。能	7203 トヨタ自動車		
12.1	交換	344,799	総資産	48,574,586	自己資本	17,039,650	30,423(8.9)	立、5年間で1200億円投じ研究開発。20	【決算】3月【設立】1937.8【上場】1949.5		
15.7	4710万株(10598円)	346,509	自己資本比率	35.1%	資本金	397,050	22,451(6.5)	【人工知能】米シリコンバレーに新会社設立。20	【環境技術】自動車の世界首位級。国内シェア4割超。富士重へ出資。海外結核事業）自動車92（9）金融6（22）他2（5）海		
15.11	消却	338,509	利益剰余金	16,454,247	有利子負債	19,502,731	16,171(4.7)	【配当性】30%目安。17年3月期は増えなかった。	【格付】S&P AA-(安) M&A Aa3(安) R&A A+(安)		
東証49~13	高値	8350(07)	ROE	13.9%	ROA	4.6%	7,671(2.2)	【役員】(株)内山田竹志(社)豊田章男(副)小平信因(加藤光久(須藤誠一(伊地知隆彦	【業種】自動車		
14	安値	21(50)	調整1株益	687.7円	最高純益(15.3)	2,173,338	6,887(2.0)	【連結】ダイハツ工業、日野自動車、米国トヨタ自動車販売	【業種】自動車		
15.1~11	高値	7491	設備投資	11,774億	減価償却	8,062億	6,685(1.9)	【仕入先】-	【販売先】-		
49~13	安値	21(50)	研究開発	10,045億	投資CF	▲3,134(▲43,362)	6,685(1.9)	【配当】14.3 100	【東京本社】☎03-3817-7111		
14	高値	7873(12)	営業CF	36,857(36,460)	財務CF	3,060(9,194)	14.9 75	【名古屋オフィス】☎052-552-2111	【工場】本社、元町、上郷、高岡、三好、堤、他6		
15.1~11	安値	6650(8)	【キャッシュフロー】	営業CF 36,857(36,460)	投資CF ▲3,134(▲43,362)	財務CF 3,060(9,194)	15.3 125	【従業員】<15.9> 349,508名(39.1歳) 838名	【証券】日4市場、NY、LON 駐(主)野村(副)日興、三菱Uモル、大和、みずほ 図三菱U信 監PwCあらた【銀行】三菱U、三井住友		
15.9	高値	7491	【業種】自動車	時価総額順位 1/9社	【比較会社】7201 日産自動車、7267 ホンダ、7269 スズキ		15.9 100	【仕入先】-	【販売先】-		
10	安値	6669	【業績】(百万円)	売上高	営業利益	税引前利益	純利益	1株益(円)	1株配(円)	【配当】	配当(円)
#11	高値	7698	11.3	18,993,688	468,279	563,290	408,183	130.2	50	14.3	100
3期平均	安値	7331	12.3	18,583,653	355,627	432,873	283,559	90.2	50	14.9	75
3期平均	高値	7668	13.3	22,064,192	1,320,888	1,403,649	962,163	303.8	90	15.3	125
3期平均	安値	7331	14.3	25,691,911	2,292,112	2,441,080	1,823,119	575.3	165	15.9	100
3期平均	高値	7698	15.3	27,234,521	2,750,564	2,892,828	2,173,338	688.0	200	16.3	110~135
3期平均	安値	7331	16.3	28,000,000	3,000,000	3,200,000	2,400,000	770.8	210~235	16.9	110~120
3期平均	高値	7698	17.3	29,000,000	3,150,000	3,350,000	2,500,000	802.9	240~250	17.3	130
3期平均	安値	7331	15.9	14,091,488	1,583,405	1,675,151	1,258,112	399.4	100	14.3	100
3期平均	高値	7698	16.9	14,600,000	1,650,000	1,750,000	1,300,000	417.5	110~120	16.3	110~135
3期平均	安値	7331	16.3	27,500,000	2,800,000	2,980,000	2,250,000	(15.11.5)	110~120	17.3	130

(出所：東洋経済新報社「会社四季報」2016年第1集)

- この企業の株を2015年1月に1単位（1単位）購入し、2015年11月に売却した場合、所有期間に係る配当金（税引前）は（ア）円である。
- 2015年3月期における1株当たりの利益は（イ）円であったことが分かる。

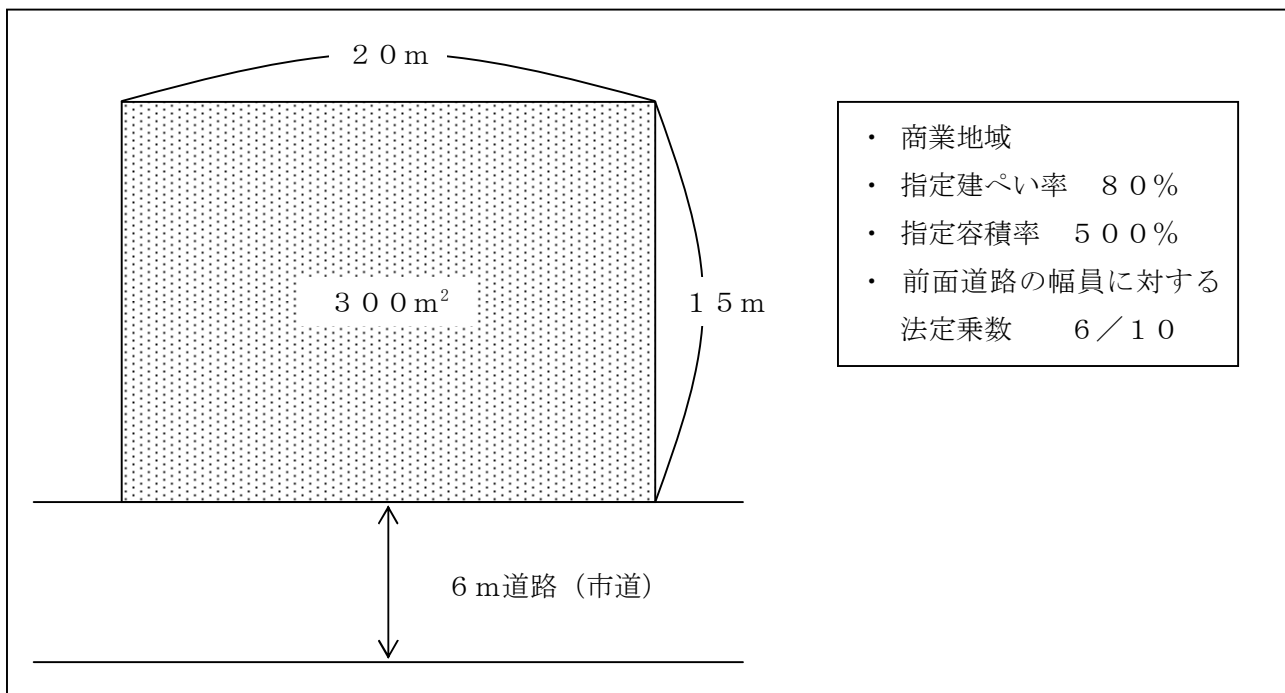
- (ア) 22,500 (イ) 688.0
- (ア) 12,500 (イ) 688.0
- (ア) 12,500 (イ) 200

【第3問】下記の（問6）、（問7）について解答しなさい。

問6

建築基準法に従い、下記<資料>の土地に建築物を建築する場合の延べ面積（床面積の合計）の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料>



1. 240 m²
2. 1,080 m²
3. 1,500 m²

問7

井川さんは、平成23年5月5日に叔父から譲り受けた土地付き中古住宅に居住していたが、平成28年8月10日に当該土地建物を9,000万円で譲渡した。取得費と譲渡費用の合計額が5,300万円である場合、この譲渡に係る所得税額（計算式を含む）として、正しいものはどれか。なお、井川さんは、この譲渡において、居住用財産を譲渡した場合の3,000万円の特別控除の適用を受けられるものとする。また、この譲渡は国や地方公共団体等へのものではなく、収用交換によるものでもない。

<土地・建物等の譲渡所得に対する税率>

所得の区分	長期譲渡所得	短期譲渡所得
所得税率	15%	30%

※復興特別所得税は考慮しない。

1. $(9,000万円 - 5,300万円) \times 30\% - 3,000万円 \leq 0 \quad \therefore 0円$
2. $(9,000万円 - 5,300万円 - 3,000万円) \times 15\% = 105万円$
3. $(9,000万円 - 5,300万円 - 3,000万円) \times 30\% = 210万円$

【第4問】下記の（問8）、（問9）について解答しなさい。

問8

馬場喜一さんが加入している生命保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、特約は自動更新されているものとする。また、喜一さんはこれまでに下記＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険証券記号番号 ○○△△××□□	定期保険特約付終身保険		
保険契約者 馬場 喜一 様	被保険者 馬場 喜一 様 契約年齢 31 歳（男性）	保険契約者印 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 馬場 </div>	◇契約日（保険期間の始期） 2004年3月1日 （平成16年） ◇主契約の保険期間 終身 ◇主契約の保険料払込期間 60歳払込満了
受取人 （死亡保険金） 馬場 里美 様（妻）	受取割合 10割		

◆ご契約内容	◆お払い込みいただく合計保険料																						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">終身保険金額（主契約保険金額）</td> <td style="text-align: right;">300万円</td> </tr> <tr> <td>定期保険特約保険金額</td> <td style="text-align: right;">1,000万円</td> </tr> <tr> <td>特定疾病保障定期保険特約保険金額</td> <td style="text-align: right;">200万円</td> </tr> <tr> <td>傷害特約保険金額</td> <td style="text-align: right;">100万円</td> </tr> <tr> <td>災害入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から</td> <td style="text-align: right;">日額5,000円</td> </tr> <tr> <td>疾病入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から</td> <td style="text-align: right;">日額5,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて手術給付金（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）を支払います。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ※妻の場合は、本人の給付金の6割の日額となります。 </td> </tr> <tr> <td>成人病入院特約</td> <td style="text-align: right;">入院5日目から 日額5,000円</td> </tr> </table>	終身保険金額（主契約保険金額）	300万円	定期保険特約保険金額	1,000万円	特定疾病保障定期保険特約保険金額	200万円	傷害特約保険金額	100万円	災害入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から	日額5,000円	疾病入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から	日額5,000円	不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて手術給付金（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）を支払います。		※妻の場合は、本人の給付金の6割の日額となります。		成人病入院特約	入院5日目から 日額5,000円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"> 毎回 ××,×××円/月 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> [保険料払込方法（回数）] 団体月払い </td> </tr> <tr> <td> ◇社員配当金支払方法 利息をつけて積立 </td> </tr> <tr> <td> ◇特約の払込期間および保険期間 10年 </td> </tr> </table>	毎回 ××,×××円/月	[保険料払込方法（回数）] 団体月払い	◇社員配当金支払方法 利息をつけて積立	◇特約の払込期間および保険期間 10年
終身保険金額（主契約保険金額）	300万円																						
定期保険特約保険金額	1,000万円																						
特定疾病保障定期保険特約保険金額	200万円																						
傷害特約保険金額	100万円																						
災害入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から	日額5,000円																						
疾病入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から	日額5,000円																						
不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて手術給付金（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）を支払います。																							
※妻の場合は、本人の給付金の6割の日額となります。																							
成人病入院特約	入院5日目から 日額5,000円																						
毎回 ××,×××円/月																							
[保険料払込方法（回数）] 団体月払い																							
◇社員配当金支払方法 利息をつけて積立																							
◇特約の払込期間および保険期間 10年																							

馬場喜一さんが、平成28年中に交通事故で死亡（即死）した場合に支払われる死亡保険金は、合計（ア）である。

1. 1,300万円
2. 1,500万円
3. 1,600万円

問9

地震保険法に基づく地震保険に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 住宅総合保険などの火災保険契約に付帯して契約するものであり、単独で契約することはできない。
2. 保険金は、保険の対象に生じた損害が全損・半損・一部損の3つの区分のいずれかに該当した場合にのみ支払われ、一部損の場合は保険金額の10%が支払われる。
3. 建物の免震・耐震性能に応じた保険料割引制度があるが、複数の割引を重複して適用することはできない。

【第5問】下記の（問10）～（問12）について解答しなさい。

問10

小田さおりさんの平成28年の所得に関する＜資料＞は下記のとおりであり、医療費控除の適用を受けたいと考えている。小田さんの平成28年分の医療費控除の金額（合計額）として、正しいものはどれか。なお、支払った医療費等はすべて小田さん本人のために支払ったものであり、＜資料＞に記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

[平成28年の所得金額]

給与所得の金額 2,500,000円

[医療費等の支出]

骨折による治療入院のための支出 320,000円

虫歯の治療に係る支出 28,000円

計348,000円

※骨折による治療入院について、損害保険契約から入院給付金50,000円の給付を受けている。

1. 198,000円
2. 248,000円
3. 298,000円

問 1 1

会社員の細川さんは、相続により取得した土地にアパートを建築して不動産の貸付けを行おうと考え、FPで税理士でもある千田さんに不動産の貸付けについて相談をした。千田さんが行った所得税の不動産所得に関する次の説明の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

<千田さんの説明>

不動産所得の金額の計算上、賃貸料のほかに、礼金、更新料などの名目で受け取るものについても総収入金額に含まれる。

また、不動産の貸付けをする際に受け取った敷金のうち、返還を要しない部分の金額は、返還を要しないことが確定した日において不動産所得の総収入金額に（ア）。

不動産の貸付けを事業的規模以外で行った場合、青色申告制度を利用すれば、青色申告特別控除として最大（イ）の控除を受けることができる。

1. （ア）含まれる （イ）10万円
2. （ア）含まれない （イ）10万円
3. （ア）含まれない （イ）65万円

問 1 2

下記の 3 人の会社員のうち、平成 2 8 年分の所得税において確定申告を行う必要がある人は誰か。なお、<資料>に記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料：3 人の収入等に関するデータ（平成 2 8 年 1 2 月 3 1 日時点）>

氏名	年齢	給与収入 (年収)	勤務先	備考
布施隆志	3 5 歳	7 0 0 万円	R F 会社	<ul style="list-style-type: none">勤務先の給与収入のみ。勤務先で年末調整を受けている。前年以前に住宅を取得し住宅借入金等特別控除の適用を受けており、年末調整の際に会社に所定の書類を提出している。
宇野大地	3 8 歳	8 5 0 万円	R K 商事	<ul style="list-style-type: none">勤務先の給与収入以外に一時所得の金額が 1 0 万円ある。勤務先で年末調整を受けている。
青山幸一	4 8 歳	1, 0 0 0 万円	R S 銀行	<ul style="list-style-type: none">勤務先の給与収入のみ。勤務先で年末調整を受けている。医療費控除の適用を受ける。

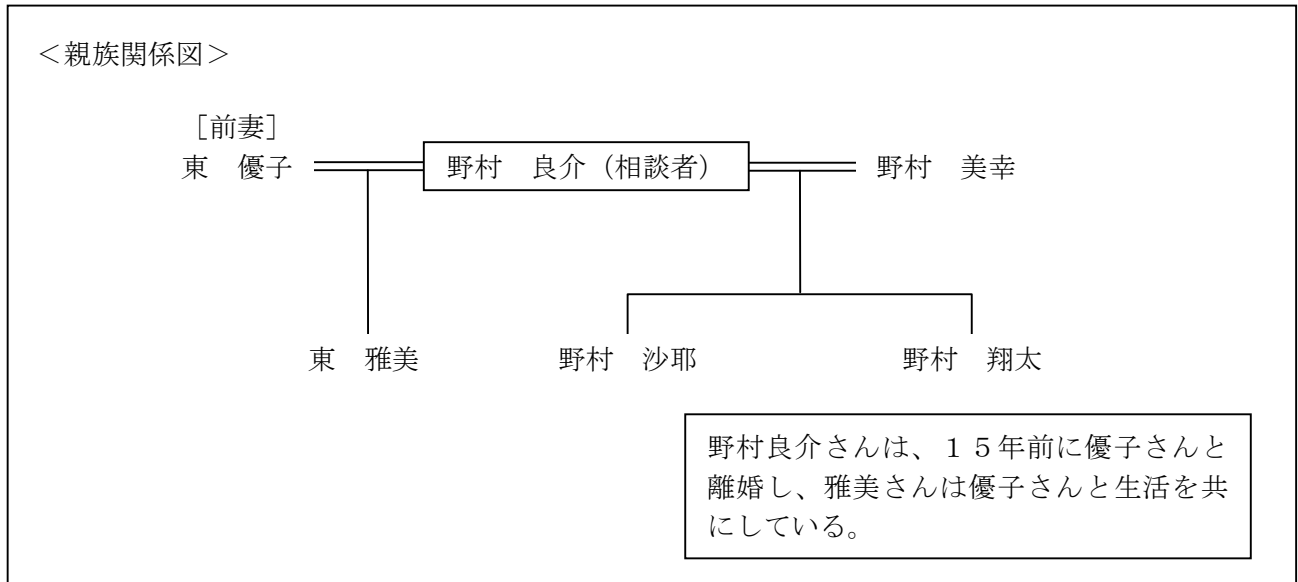
※給与収入（年収）は平成 2 8 年分の金額である。

1. 布施隆志
2. 宇野大地
3. 青山幸一

【第6問】下記の（問13）～（問15）について解答しなさい。

問13

野村良介さんの＜親族関係図＞は下記のとおりである。仮に、現時点で良介さんが死亡した場合の法定相続人・法定相続分の組み合わせのうち、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。



- | | | | | | | | |
|-------|-------|----|--------|----|--------|----|--------|
| 1. 美幸 | 1 / 2 | 沙耶 | 1 / 4 | 翔太 | 1 / 4 | | |
| 2. 美幸 | 1 / 2 | 沙耶 | 2 / 10 | 翔太 | 2 / 10 | 雅美 | 1 / 10 |
| 3. 美幸 | 1 / 2 | 沙耶 | 1 / 6 | 翔太 | 1 / 6 | 雅美 | 1 / 6 |

問 1 4

横川健治さん（以下「健治さん」という）は、平成28年6月25日に妻の明美さんへ下記＜資料＞の財産を贈与した。平成28年中に明美さんが受けた贈与は＜資料＞に記載されたもののみであり、明美さんは贈与税の配偶者控除の適用を受けることを検討している。贈与税の配偶者控除に関する次の記述の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。

＜資料＞

建物	800万円（現在健治さんと明美さんが居住している）
土地	1,700万円（上記の建物の敷地、相続税評価額）
	計2,500万円

※健治さんと明美さんは、平成28年6月25日に婚姻届を提出している。

「贈与税の配偶者控除」は、婚姻期間が（ア）年以上の配偶者から、国内の居住用の不動産または居住用不動産を取得するための金銭の贈与を受け、所定の要件を満たす場合に、一定の書類を添付し申告することで最高（イ）万円の控除を受けることができる。明美さんが贈与税の配偶者控除の適用を受けた場合、平成28年分の贈与税の課税価格は（ウ）万円である。

1. (ア) 20 (イ) 2,500 (ウ) 0
2. (ア) 20 (イ) 2,000 (ウ) 390
3. (ア) 25 (イ) 2,000 (ウ) 500

問 1 5

下記は、「小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例」の適用対象となる土地についてまとめた表である。下表の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、いずれの小規模宅地等においても、平成27年1月1日以後に開始した相続で、適用要件を満たす相続人が取得し、最大限の適用を受けるものとする。

＜小規模宅地等の適用上限面積と減額割合＞

宅地の種類	適用上限面積	減額割合
特定事業用宅地等、特定同族会社事業用宅地等	400m ²	80%
特定居住用宅地等	(ア)m ²	(イ)%
貸付事業用宅地等	200m ²	50%

1. (ア) 330 (イ) 80
2. (ア) 400 (イ) 80
3. (ア) 400 (イ) 50

【第7問】下記の（問16）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

杉野明さんは株式会社MKに勤める会社員である。明さんは定年退職を2年後に控え、今後の生活設計についてFPで税理士でもある目黒さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも平成28年9月1日現在のものである。

[家族構成]

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
杉野 明	本人	昭和33年7月12日	58歳	会社員
祥子	妻	昭和33年6月10日	58歳	専業主婦
慶太	長男	平成6年8月18日	22歳	大学4年生

[保有財産（時価）]

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	400
定期預金	1,500
財形年金貯蓄	350
外貨預金	250
上場株式	540
生命保険（解約返戻金相当額）	330
不動産（自宅マンション）	2,800
その他（動産等）	250

[負債残高]

住宅ローン（自宅マンション）：350万円（債務者は明さん、団体信用生命保険付き）

[定年退職時]

退職一時金として、勤務先より3,000万円が支給される予定。

[その他]

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

問 16

F P の目黒さんは、杉野家の平成 28 年 9 月 1 日現在のバランスシートを作成した。下表の空欄 (ア) にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、<設例>に記載のあるデータに基づいて解答することとし、<設例>に記載のないデータについては一切考慮しないこととする。

<杉野家のバランスシート>

(単位：万円)

[資産]		[負債]	
金融資産		住宅ローン	×××
普通預金	×××		
定期預金	×××		
財形年金貯蓄	×××	負債合計	×××
外貨預金	×××		
上場株式	×××		
生命保険 (解約返戻金相当額)	×××	[純資産]	(ア)
不動産 (自宅マンション)	×××		
その他 (動産等)	×××		
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 5,740 (万円)
2. 5,820 (万円)
3. 6,070 (万円)

問 17

明さんは、定年退職後は、退職金の一部を老後の生活資金に充てようと思っている。仮に、退職一時金のうち 2,000 万円を年利 2% で複利運用しながら 20 年間で均等に取り崩すこととした場合、毎年の生活資金に充てることができる金額として、正しいものはどれか。なお、下記<資料>の 3 つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、円単位で解答すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<資料：係数早見表 (年利 2.0%)>

	現価係数	資本回収係数	減債基金係数
20年	0.6730	0.0612	0.0412

※記載されている数値は正しいものとする。

1. 1,346,000円
2. 1,224,000円
3. 824,000円

問 18

明さんは、財形年金貯蓄を利用している。そこで財形年金貯蓄について理解を深めておこうと思い、FPの目黒さんに質問をした。財形年金貯蓄に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 加入できるのは55歳未満の勤労者であり、1人1契約である。
2. 年金は、60歳以後に終身年金としてのみ受け取れる。
3. 受け取る年金は、個人年金保険と同様に雑所得として課税される。

問 19

祥子さんは、現在、専業主婦で国民年金の第3号被保険者であるが、平成28年10月からある会社においてパートタイマーとして働く予定である。パートタイマーとして働き始めた時点の祥子さんの国民年金の被保険者に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、その時点における祥子さんの年収は100万円未満で、明さんの年収の2分の1未満であるものとし、パート先において厚生年金の被保険者とならないものとする。

1. 国民年金の第3号被保険者ではなくなり、第1号被保険者とされる。
2. 国民年金の第3号被保険者ではなくなり、第2号被保険者とされる。
3. 国民年金の第3号被保険者のままである。

問 20

明さんは、会社の定期健康診断で異常を指摘され、平成28年5月に3週間ほど入院をして治療を受けた。その際の病院への支払いが高額であったため、健康保険の高額療養費制度を利用した。明さんの平成28年5月における保険診療に係る医療費の自己負担額は30万円（総医療費100万円）であったが、この場合、高額療養費制度により払戻しを受けた後の最終的な明さんの負担金額として、正しいものはどれか。なお、明さんは全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）の被保険者で、標準報酬月額が「50万円」である。また、高額療養費の多数該当および世帯合算については考慮しないものとする。

<70歳未満の者：医療費の自己負担限度額（1ヵ月当たり）>

標準報酬月額	医療費の自己負担限度額
83万円以上	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1%
53万円～79万円	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1%
28万円～50万円	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%
26万円以下	57,600円
市町村民税非課税者等	35,400円

1. 87,430円
2. 212,570円
3. 219,570円